

# 第3部 新エネルギー導入の方向

## 第1章 基本的方向

本市は、平成19年度に策定した「第1次中央市長期総合計画」において、「実り豊かな生活文化都市」を市の将来像として掲げています。その中で、基本的な政策として「快適で環境に配慮した社会の実現」を進めるため、生活環境の向上、循環型社会の確立、新エネルギーの活用を図っていくものとしています。

「中央市地域新エネルギービジョン」は、本市の目指す「快適で環境に配慮した社会」の実現に向けた一つの方向性を明確にし、市民、事業者、行政が協働して実施する先導的モデル事業として有望なものや効果的な新エネルギーの普及方策等を提示するものです。

長期総合計画が目指す将来像および本市の地域特性等から考えられる新エネルギー導入の方向性を示すキャッチフレーズと基本方針を次のとおりとします。

### 1 キャッチフレーズ

地球にやさしい生活文化都市

～太陽と水と緑の恵みを活かして～

\* 太陽は太陽光、水は地下水、緑はバイオ燃料を示唆しています。また、市章の色は水色、緑色、オレンジとなっており、水、緑、太陽を連想させます。

## 2 基本方針

### (1) 地域資源を活用した地球にやさしい暮らしづくり

本市は、日照に恵まれ、地下水位が高く、農地が多くあります。これらの特性を活かした新エネルギーの導入と、省エネルギーの推進を市民・事業者・行政それぞれが積極的に進め、環境にやさしいライフスタイル・事業活動への転換を図っていきます。

### (2) 産・学・官・民の連携による取組の推進

各主体の緊密な連携のもと、新エネルギー導入等の取組による循環型社会の形成が進むよう、それぞれが協力し、連携の方策、参加の仕組みを構築します。

### (3) 情報提供、意見交換による普及

新エネルギーに対する理解や関心が市全体で高まるよう、学習機会の提供や情報発信を行い、意見を互いに交換します。